社会福祉法人 川崎市社会福祉事業団

KAWASAKI FUKUSHI JIGYODAN

社会福祉法人 川崎市社会福祉事業団は、すべての市民が地域において安心して快適な生活が営める福祉社会づくりをめざして設立された社会福祉法人です。川崎市社会福祉事業団では、4つの基本理念に基づき、市民一人ひとりが個性を大切にされ、充実した社会生活を送れるよう、質の高い福祉サービスの提供に努めています。

基本理念

1.充実したサービスの提供

時代やニーズの変化を先取りした新しい福祉サービス、市民や利用者から信頼され選ばれる福祉サービスの提供をめざします。

2.職員の資質・能力の向上

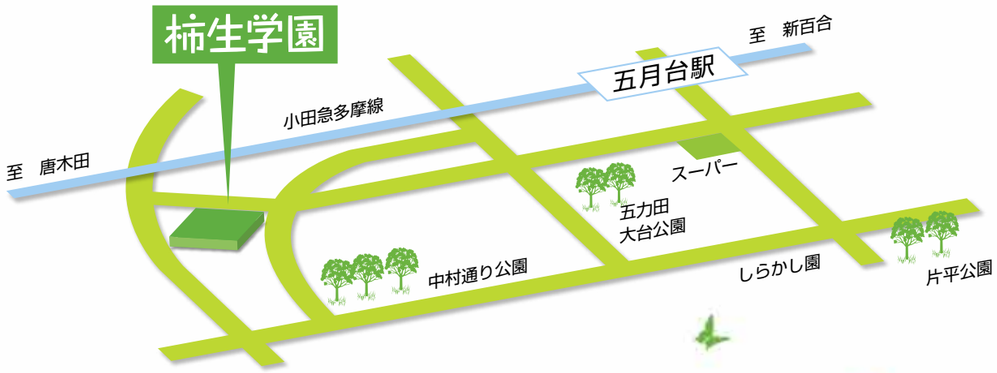
組織の一員であるとともに、自分で考え主体的に行動し解決する能力を有する職員の育成及びチームワークに貢献できる協調性をそなえた職員の育成に努めます。

3.地域に根ざした施設運営

地域に根ざした福祉活動を通じて豊かな地域福祉社会の発展に貢献します。

4.法人の経営基盤の整備

社会福祉事業者として、継続的なサービスを提供できる経営をめざし、運営基盤の充実・人事管理体制の確立・多角的な事業経営に取り組みます。



【交通のご案内】小田急多摩線「五月台駅」下車　徒歩６分

川崎市社会福祉事業団
川崎市柿生学園

開所
1986年4月
（昭和61年）

〒215-0025
川崎市麻生区五力田 2-20-10
TEL.044-987-1511
FAX.044-987-1510
kakiogakuen@kfj.or.jp

川崎市柿生学園は、
社会福祉法人川崎市社会福祉事業団が
運営する障害者支援施設です。
麻生区のゆたかな緑に包まれ、
さわやかな風を感じる
さつきの丘に建っています。
笑顔あふれる空間は、
みなで生活するよろこびと
しあわせをわかちあえる
ゆっくりとした時間を
感じることができます。

川崎市
柿生学園

社会福祉法人 川崎市社会福祉事業団

つながる心、つながる笑顔

在宅生活が困難な重度の障害者の方に入所頂き、個別の支援計画に基づいた施設支援を提供致しております。

運営方針

川崎市柿生学園は、川崎市社会福祉事業団の理念及びノーマライゼーションの理念に基づき、利用者の人権を擁護する立場から、職員規範を遵守し選ばれる福祉サービスの提供に努めます。生活支援を通じて、生きる喜びを感じられる豊かな生活の実現をめざします。

1. ノーマライゼーションの理念に基づき、多くの方から信頼されて選ばれる福祉サービスの提供に努めます。
2. 利用者の権利を擁護する立場から、利用される方の意志やそれぞれの人格を尊重した支援を提供します。
3. 必要な生活支援を通じて、生きる喜びを感じられる豊かな生活の実現をめざします。さらに、地域や関係機関との連携を通して、地域に開かれた施設運営に努めます。
4. 基本に忠実に、当たり前のことに確実に取り組める福祉専門職をめざして、一日一日を大切に支援いたします。

施設入所支援・生活介護事業（定員60名）

施設入所支援

生活スペースは、15名のユニット制です。小集団で家庭的な雰囲気をもたせ、穏やかでくつろぎのある生活の中で、利用者個々の支援の提供に努めます。

生活介護

利用者個々の興味や関心に応じた日課を設定し、充実感を得られる支援を行います。日中の時間帯にはグループに分かれ仕事やレクリエーションを行っています。季節ごとに大小さまざまな催し物を行い、生活にメリハリがもてるような笑顔あふれる時間を提供しています。

短期入所事業（定員4名）

在宅障害者の方を対象に、病気や通院等の社会的理由や介護疲れなどのレスパイト等を理由に、一時的に施設をご利用いただくことにより地域生活をご支援します。在宅生活で必要な情報提供も行います。

川崎市障害児者日中一時支援事業

在宅障害者の方を対象に、日帰りで施設利用いただき、施設経験や介護負担の軽減をはかれるように支援します。

相談支援事業（障害者生活支援センター柿生）

在宅の障害者に対し、地域における自立した生活を支援するため、総合相談機能の充実を図り、日常生活相談や、各種サービスの利用援助等ケアマネジメントを行い、関係機関との連携を図りながら必要な援助を行います。主たる対象者は麻生区及びその近隣にお住まいの知的障害者の方となりますが、その他の地域からのご相談についても関係機関との連携のもとで対応します。

TEL.044-987-1794

グループホーム（共同生活介護）さつきの丘・かきお・まろん・かりん

柿生学園がバックアップするグループホーム（共同生活介護）です。地域でその人らしく生活できるように豊かな生活を支援します。学園近隣の戸建住宅に4ホーム24名の方が生活されています。日中は市内の生活介護施設や就労の場に通われています。